

# もみじ

-広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報-



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みすほ

編集 西部伸也

## 本号内容

1. 登山教室 (2年 10/12 窓ヶ山、1年 10/26~27 三段峡～恐羅漢山、岩稜クラス 10/26 岩渕山) 報告
2. 山岳・スポーツクライミングセミナー (10/19 広島市西区民文化センター) 報告
3. 県民ハイキング (10/20 高松山) 報告
4. 岳連例会山行 (10/23 権現山・おむすび岩) 報告
5. 中国高校登山大会 (10/25~27 三瓶山) 報告
6. 広島山稜会より登山道整備 (10/27 牛小屋高原～中山) 協力へのお礼と参加者からの報告
7. 全員協議会 (10/30 西区民文化センター) 報告
8. 第28回スカイラン実行委員会立ち上げ
9. 岳連短信 (寄贈御礼、11～12月行事案内)

## 1. 登山教室報告

(指導部長 森本 覚)

第7回2年生 10/12(土) 登山形態：日帰り山行

山域：窓ヶ山 人数：10名（スタッフ含）

今回の2年生はテント泊縦走の実践で剣山～三嶺に行く計画でしたが、台風の影響で三瓶山に変更しました。しかし、三瓶山も予想以上の風雨のため山行を中止し窓ヶ山に戻って、ロープワークの講習をしました。転戦に次ぐ転戦で、今回は感想文はありません。



(写真提供 久保田 征治)

第7回1年生 10/26(土)～27(日)

登山形態：テント泊山行

山域：三段峡～恐羅漢山

人数：8名（スタッフ含）

今回の1年生は初のテント泊縦走で三段峡から恐羅漢山に行きました。三段峡が工事の為往路も復路も内黒山経由で行動しました。雨が降ったり止んだりの天気で行動が遅れましたが、なんとか砥石郷山まで歩く事が出来ました。2日目は岩稜クラスさんがサポートしてくれたので無事三段峡まで戻ることが出来ました。（森本）

『10月の山行を終えて』

(登山教室1年 山根 厚介)

○体力的な面

今回の山行は、計画書上は1日目の方が2日目よりも距離も累積標高も上でした。しかし、2年生の吉川さんがしきりに2日目はヤバい、内黒峠からがヤバい、本当にヤバいと呪文のようにおっしゃられていたので、「そんなことなかろう」と内心思いつつ実際に内黒峠を下ってみると、本当にヤバいことがよく分かり

ました。疑ってごめんなさい。疲労がマックスまでたまつところにあの延々と続く下りは拷問レベルのしんどさで、全然標高が下がらない高度計を何度も見ながら「この高度計絶対壊れるとるじゃろ？」と思ってしまうほどでした。膝にも痛みが出てきており、秋の爽やかな夕暮れ時の下りであるはずなのに、脂汗がしあたり落ちるような辛さで、下界が見えたときは心の底から助かったと思いました。

### ○技術的な面

今回は雨で足場が悪かったこともあり、自分でもあきれるくらいによく滑ってこけました。しかも一番派手にこけたところは沖元さんに撮影されてしまいました。とても屈辱です。1年生以外も多少はこけていましたが、回数は1年生が圧倒的でしたから、滑らない転倒しない歩き方を真剣に練習しなければまずいと感じました。

### ○装備的な面

私は汗かきなので、今まで服装については汗を飛ばすことばかり考えていたのですが、今回はそれだと寒くて耐えられませんでした。登りだとちょうどよいのですが、下りや休憩になると寒くてたまらず、今回は合羽を着てなんとか過ごしました。秋の段階でこんな有様では冬になったらキリギリスみたいに死ぬと思うので、冬に向けて衣服のことも考えないといけないと感じました。

今回もたくさん勉強になることがあってよかったです。このコースは当分歩きたくないですし、「内黒」という単語もしばらくは見聞きしたくありません。



(写真提供 沖元 泰使)

### 第3回岩稜クラス 10/26(土)

登山形態：岩稜歩き

山城：岩渕山

人数：9名（スタッフ含）

岩稜クラスの3回目は岩稜歩きに行ってきました。今回から受講生さんもフィックスロープを張ったり確保の練習もしてもらいました。人の命を預かる作業があるので真剣に練習しました。（森本）

### 『感想文』

（登山教室岩稜クラス 平山 綾乃）

岩稜クラス三回目は岩渕山。前回の二回は沢歩きであったため、本格的な岩場を利用してのロープワーク訓練です。今回は、スリング、カナビラのみを使用し、ハーネスは使用しませんでした。簡易ハーネスを作つて、岩場へ挑みました。

毎回、危ない箇所を通過する際、スタッフの方にフィックスロープを張ってもらい、通過していましたが、今回はそのフィックスロープの設置も行いました。今まで教わった、ボーラインノット、クローブヒッチ、ムンターヒッチ・・・何度もやってきたものが、スムーズにできず、「冬なら凍てるぞー」と後ろからの声。岩を登る際も、もともと設置されているロープには頼らず足場や手がかりを探しながら登りました。

その他、下りのビレイも行いましたが、高度感たっぷりの岩場の上でセルフビレイを取っているスリングに身体をあずけ、半身を岩場からせり出した形で、降下するメンバーをビレイする際は、とても怖かったです。

今回ロープワークは普段の練習でできていたが、実践の場、高所で緊張感高まる場所では焦ってできない事もわかり、無意識にできる位、練習を重ねないといけないと思いました。そして、少しのミスは事故につながることを改めて肝に銘じ、今後も真剣に取り組んでいきたいと思いました。

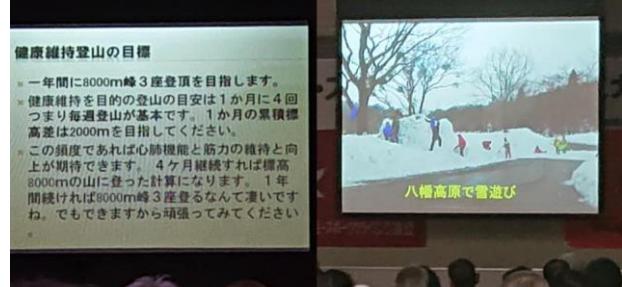
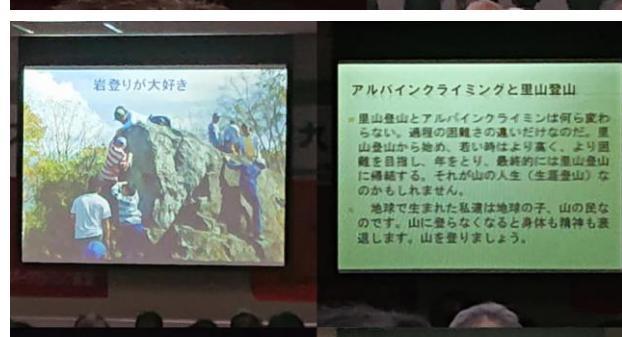
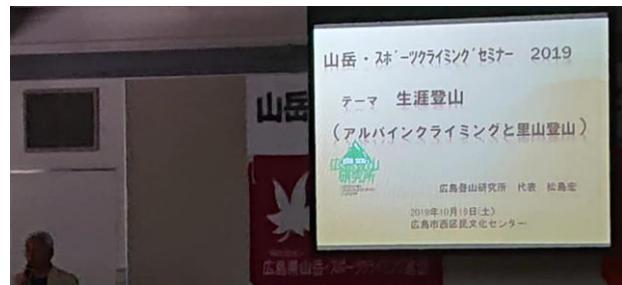
ドキドキ感を味わいながら、岩場をよじ登っていくお山は、とても楽しく、早く上達して大きな山にチャレンジしたいです。



(写真提供 久保田 征治)



ほぼ満席の会場でセミナーが始まる



## 2. 山岳・スポーツクライミングセミナー報告 (西部)

10/19(土)午後、広島市西区民文化センターで当連盟主催の山岳・スポーツクライミングセミナー2019が開催され、133名と多くの参加をえて成功裏に終了しました。

講師は当連盟理事でもある広島登山研究所の松島宏さんで、演題は「生涯登山」—アルパインクライミングと里山登山》でした。前半では松島さんが実践してきた世界を股にかけてのアルパインクライミングの話が紹介され、若い頃、雪男の足跡発見者として新聞紙上を賑わせたという面白い話もありました。

そして後半では、参加者の多数を占めていた年配登山者あるいは若い中高校生たちに向けて、里山登山の魅力が大いに語られました。なかでも、「毎週 500m、ひと月で 2000m、1 年間で 24000m すなわち 8000m 峰 3 座分を目指そう」という発想が新鮮でした。

講演の後は、毎年恒例のお楽しみ抽選会が行われ、協賛各社（アルパインツアーサービス、広島登山研究所、ひろでん中国新聞旅行、アシーズ、大塚製薬）から提供いただいた景品が多くの人々に当たり、会場がにこやかな笑顔に包まれていました。



第2部お楽しみ抽選会と、恒例の講演者サイン

### 3. 県民ハイキング報告

(可部山岳会 岩見 健次)

期日 10月 20日（日）

場所 広島市安佐北区可部町 高松山 (339m)

参加者 一般参加者 18名、岳連参加者（担当会以外）

12名、可部山岳会 13名 計 43名

ルート・時間 可部駅東口集合 9:30 出発 9:40～高松山登山口 10:00（開会式）出発 10:20～展望台 11:10～高松神社 11:30 出発 11:40～高松山山頂 11:45 出発 12:50～桐原車道分岐 13:10～寺山広場 14:00（閉会式）出発 14:15～寺山～可部駅東口 14:40

#### 概要

\*\*\*\*\*

高松山は可部の町のすぐ側にそびえる歴史の跡の残る里山である。中世の戦国の世に山陰の尼子勢と山陽の大内勢の二大勢力の覇権争いの中で翻弄されながらもその乱世の世に台頭してきた毛利方に組みし生き残った熊谷家の居城跡である。

\*\*\*\*\*

可部駅に集合し、街中を抜けて旧可部高グランドの登山口で開会式を行いました。岳連の西部理事の挨拶に先立って5年前の豪雨災害の犠牲者に対しての黙祷をして、小林氏の絵地図のルート説明の後、3グループに分かれて登っていました。

まだルート上に土石流の跡も残り道も崩壊のため稜線沿いに迂回して登っていました。途中体調不良者が1名有りましたが、付き添い者と共に下山し待機の車で送迎しました。

頂上は眺望もよく広島湾の島々まで見渡せます。ここで熊谷氏の歴史解説をし、一般参加者対象の地図の見方説明もしました。

下山は上原登山口から（新）可部高横の寺山公園まで歩いて閉会式を行いました。

(以下、写真と説明は西部)



可部駅～登山口（開会式）～尾根筋の登り（背後に阿武山）

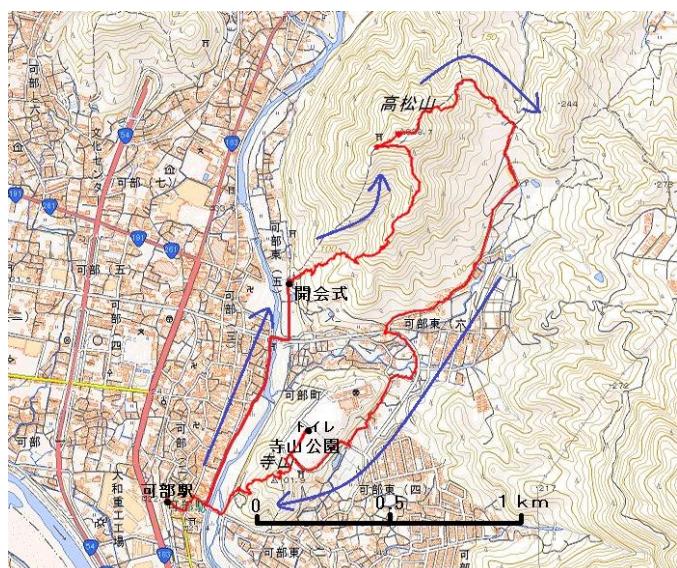


高松神社～山頂（歴史解説・地図読み講習）～上原への下山

前頁の歴史解説講師は鍵本さん（豊田理事長の高校時代の先輩）、地図読み講習の講師は今年 85 歳になられる谷断二さん（タンネンクラブ・可部山岳会準会員）



高松山がよく見える寺山公園（閉会式）と寺山



#### 4. 岳連例会山行報告

（西部）

10/23（水）、今年度「廿日市 20 名山」をテーマとする岳連例会山行は旧佐伯町と大野町の境になる**大野権現山・おむすび岩**に出かけました。

JR 宮内串戸駅からバスに乗り、佐伯工業団地入口で降りて、途中、通常のルートとは異なるルートで権現山に登り、その後はおむすび岩まで縦走し、せっかくなのでベニマンサクの紅葉も愛で、再び登り返して鳥帽子岩にも立ち寄り、上峰のバス停へと下山しました。

県民ハイキングよりは早めのペースでしたが、皆さん元気に歩かれました。

参加者はリーダーの後藤副会長を含め 10 名でした。

また、佐伯工業団地では、かつての国体山岳競技の広島県選手で、現在は剣玉づくりで有名なイワタ木工社長の岩田知真さんを訪問もしました。



佐伯工業団地からやや荒れた谷筋ルート（青線）で権現山へ



権現山と旧佐伯町方面の眺め



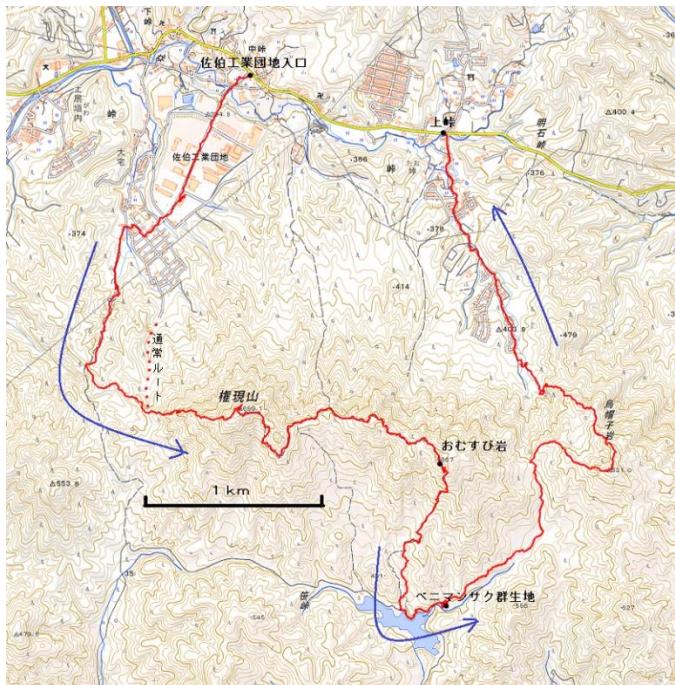
おむすび岩と鳥帽子岩方面



全国的には珍しいベニマンサク



まさに「鳥帽子」岩



佐伯工業団地入口 8:55 出発 権現山 10:45/50 おむすび岩 11:35/12:00 ベニマンサク群生地 12:30/35 烏帽子岩 13:30/35 上峠 14:35 (所要時間 5 時間 40 分)

## 5. 中国高校登山大会報告

（西部）

10/25（金）～27（日）、島根県大田市三瓶山で第59回中国高等学校登山大会があり、広島県からは男子が広島学院、修道、基町、五日市、廿日市、高陽の6校、女子はノートルダム清心、基町、五日市の3校が出場しました。夕立もありましたが、まずまずの天候の中、広島県はリタイアチームもなく元気に歩きました。

成績のほうも男子で修道が優勝、広島学院が4位、女子で清心が3位と健闘しました。入賞校（男子1～8位・女子1～6位）ならびに広島県チームの成績は以下の通りです。

（次頁には修道高校選手の感想文を掲載します。）

男子（25校）①修道 98.25 ②防府 97.65 ③岡山工業 97.40 ④広島学院 96.80 ⑤下松工業 94.90 ⑥岡山操山 94.10 ⑦米子東 93.00 ⑧山口 92.70 ⑨基町 91.75 ⑩五日市 88.00 ⑪廿日市 74.80 ⑫高陽 71.15

女子（14校）①防府 97.50 ②山口 97.05 ③ノートルダム清心 96.00 ④米子東 94.95 ⑤就実 94.90 ⑥松江北 93.65 ⑦五日市 90.45 ⑧基町 90.20



10/26 朝、男女別に北の原キャンプ場をスタート



まずはCP1のある男三瓶山頂へ



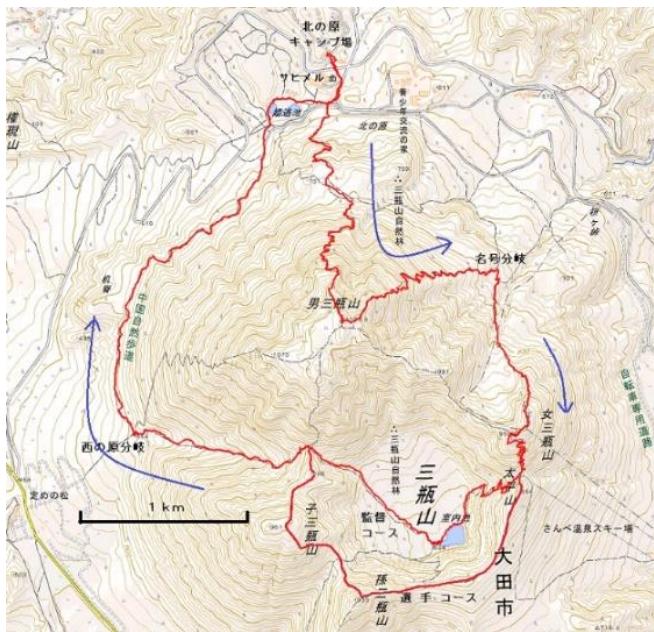
監督隊は室内池に降りて、選手たちの稜線通過を待つ



北の原に戻ると選手たちは設営審査



10/27 閉会式で表彰を受ける入賞校



## 修道高校選手感想文

(1年 稲垣智仁)

今回の中国大会で、経験を積むことの大切さを再確認しました。大会中、インハイ優勝経験のある窪田先輩のアドバイスのおかげで、登山技術や、知識がついたと思います。それでも、設営や、歩行技術など、まだ未熟なところがあるので今後の大会に向け、日々努力していくこうと思います。

(1年 竹崎 和陽)

今回 初めて中国大会という大きな大会に出ることができ 1位という初めての順位を取れました。発表された瞬間こそ感激しましたがそれまでは前日までの失点、特に設営、歩行、天気図の事で不安でした。優勝できとても嬉しいですが、だからこそまだまだ練習が必要だと強く感じたので努力したいです。

(1年 鮎川 紘太)

連覇中だったからプレッシャーは大きかった。筆記試験を解き終わった後はできたという感覚が全くなく、

結構落ち込んだ。ただ、他のメンバーに励まされたことで気持ちを切り替えることができた。登山競技ではチームワークが一番大切だと思う。あともう一つ言いたいのは「先輩は偉大」。

## 6. 広島山稜会より登山道整備協力へのお礼と 参加者からの報告

広島県山岳・スポーツクライミング連盟 関係者各位  
(広島山稜会会长 横田 繁)

去る10月27日に実施しました「牛小屋高原～中山」間の登山道整備につきましては、皆様のご協力により無事完遂することができました。

参加者のお手配いただいた皆様、整備に参加いただきました皆様にお礼申し上げます。

おかげさまできれいな登山路ができあがりました。

縦走路としてはコースが中途半端なものです、興味や縦走意欲のある方々に利用いただけるものとなつたと思います。

本当にありがとうございました。

今後とも当会の取り組み及び山行にご理解をいただきたく、よろしくお願ひいたします。



(写真は山稜会より)

次に参加者からの報告と写真・地図を掲載します。

(副会長 亀井 且博)

10月26～27日は広島山岳会の例会山行をまるごと山稜会の登山道整備の企画にドッキングした山行とした。前日から恐羅漢牛小屋ヒュッテに入り、前にやり残していた靴箱のキャスターを着けてから、夜は山稜会の山小屋で登山道整備参加者の懇親会に参加。皆

で酒を飲み歌を歌ったりしながら楽しく過ごした。

翌日は牛小屋谷と横川谷の間の尾根の登山道の整備を行った。連盟関係者も加わり総勢 40 人の参加者で恐羅漢キャンプ場から中山頂上まで草刈り機、チェンソー、鎌、鍬などを使ってきれいな登山道と標識を整備した。ブナ、ナラの雑木林で気持ちの良い縦走路で、ふらっと散歩代わりに良さそうな道となった。



## 7. 全員協議会報告

(西部)

10/30(水) 晩 7 時からの 2 時間、広島市西区民文化センターで開催された全員協議会には多くの連盟会員が出席し、連盟の今後の活動に向けて有意義なものとなりました。

毎年この時期に行われる全員協議会は 5 月の定期総会に次いで重要な会議で、理事の他、各会の主な方や個人会員の方、各部のスタッフの方も出席して、平日水曜日の晩にもかかわらず、今年は 33 名の出席があり、これは毎月 1 回理事たちで行っている運営会議のほぼ倍に当たるものでした。

議題は、①(9 月下旬の聖山での連盟会員の遭難事故を受けての)山岳遭難について、②(3 年ぶりに得点

を獲得した)茨城国体スポーツクライミング競技の報告、③比婆山国際スカイラン大会の今後について、④連盟の財務状況について、⑤(2 年後の)連盟創立 80 周年に向けて、でした。

①の山岳遭難については、連盟の連絡体制・救助体制・遭難基金についての説明がまずあり、6 年前の名越實さんの捜索事例も紹介され、最後に「山岳事故の対応のお願い」として、各個人が事故にあわないとめの留意事項、各会で対応しておくこと、連盟で対応することなどが細かく説明されました。

②の国体スポーツクライミング競技については、競技団体である連盟として、今後も競技力の向上を図り、また連盟会員としては応援に積極的に参加したいものです。来年は鹿児島県南さつま市での開催になります。応援の合間に開聞岳や霧島山などに登山することも可能かもしれません。

③のスカイランについては、各会とも高齢化で協力が今までのようにはできないことを心配されていましたが、多くの連盟会員が一堂に会する楽しい行事であり、また連盟の大きな収入源になっていることからも、今後もなるべく協力したいという声が多くありました。

④の財務状況については、5 月の定期総会で説明したように、昨年度の収支が約 110 万円の赤字という大変厳しい状況になっていますが、なんとかそれを改善すべく、昨年度の細かな収入と支出の状況がわかる資料を用意しましたので、各部・各行事で今後の対策を検討していってください。

⑤の創立 80 周年に向けては、70 周年で実施したこと（海外遠征・記念誌発刊）を踏まえ、各会員に何を実施したいかの希望を募ります。

最後は恒例の出席者全員の 1 分間スピーチの予定でしたが、今年は盛り沢山の議題で時間がなくなり、残念ながら一部の方からの自己紹介等にとどまりましたが、新しく出席された方のお名前と顔がわかるのはよいことでした。

次頁の写真左は全員協議会の様子。右上は亀井副会長（広島山岳会）による名越さん捜索の事例報告、右下は東さん・綿谷さん作成の比婆山スカイラン DVD（短縮版）の上映



## 8. 第28回スカイラン実行委員会立ち上げ

第28回比婆山国際スカイラン大会（2020年5月31日（日）実施、5/30に登山フェスティバル）の実行委員会がたちあがり、10/16に第1回委員会が持たれました。実行委員会のリーダーはこれまで10年間務められた永津さんから豊田理事長に交代し、サブリーダーとして杉本・永津・西部の3名が努めます。

その他の実行委員会メンバーは、山田、後藤、村井、三村、松井、岡谷、福永、尾道、小林、福原、小田、高松、山元、平田、萬行、岩内、宇山、坂原で、今後の実行委員会の日程は次のようにになります。②11/20、③12/18、④1/15、⑤2/5、⑥3/4、⑦4/1、⑧4/15、⑨5/13、⑩5/20、⑪5/27（いずれも水曜日の晩）

また看板掛け＆コース整備は4/25～26（予備5/9～10）、コース整備＆リハーサルが5/23～24の土日、後片付けが6/6（土）、反省会が6/10（水）となります。

各会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

なお、選手の募集は12/25開始の予定です。

## 9. 岳連短信

### 1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No.476（11月号）

福山山岳会『会報』R元.11月号

広島やまびこ会『やまびこ』No.762（12月号）

広島山岳会『山嶺』第850・851号（R元.9・10月）

### 2. 11～12月の行事案内

（集合時間・場所等の詳細は当連盟ホームページの「岳連カレンダー」のページを開き各行事をクリックすると確認できます。不明のものについては事務局にお尋ねください。）

11/17 県民ハイキング（牛田山）

- 11/20 岳連例会山行（上勝成山～下勝成山、鷹巣山）
- 11/29～30 登山部顧問等安全登山講習会（東区スポーツセンター、五日市高校・極楽寺山）
- 11/30 岳連例会山行（高見山・船倉山）
- 12/4 岳連例会山行（極楽寺山）
- 12/8 県民ハイキング（宮島 大江の貝殻塚と周辺）
- 12/15 チャレンジクライミング（Switch Climbing Gym）
- 12/21～22 全国高校選抜SC選手権（埼玉県加須市）

参加者募集!!

みどりが映える五月の比婆山

2020.5/31日

駆け抜けろ新緑の比婆の峰々を —————

第28回

**比婆山**  
**国際**  
**スカイラン**

Aコース 18.5Km — 10時00分 スタート  
Bコース 9.0Km — 10時30分 スタート

主 催 一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

後 援 広島県、庄原市、（公財）広島県体育協会、広島県高等学校体育連盟、中国新聞社、報知新聞広島総局、山陽新聞社、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島県ライアイスコン協会、（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会、鳥取県山岳連盟、岡山県山岳連盟、岡山県山岳・スポーツクライミング連盟、山口県山岳・スポーツクライミング連盟

協 賛 （公財）広島県スポーツ振興財団、（株）比婆の森、（株）大原製業工場、広島登山研究所、（株）アルファス、日山協山共済会、スポーツジャパン（株）

比婆山山開き

大会当日、ひろしま県民の森にて開催  
安全祈願祭・神楽奉納他、  
催しいろいろお楽しみ下さい。

第28回大会募集要項表紙（=大会ポスター）

### 編集部より

○この会報は、皆さんのお手元に届くように編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵んで下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。